図書便り

「1月はいく,2月はにげる,3月はさる」といわれますが,年が明けてあっという間に1月が終わってしまいました。3学期は残り30日ほどです。 感染症予防や食事,生活習慣にも気を配り,今の学年の活動を仕上げて次年度に繋げたいですね。

2階図書掲示板 みなさんのカードでいっぱいにしましょう!



言葉には、不思議な力があります。 プラスの言葉をいつも使っていると、 また、こういう言葉を使いたくなるような うれしい出来事がどんどん起こります。

読んでいると嬉しくなって、 あたたかい気持ちになりますね。 みんなの言葉でいっぱいにしましょう (^_-)-☆ 楽を10錠飲むよりも 心から笑った方が ずっと効果があるはず アンネ・フランク



◆本屋大賞/ミネート作品発表になりました!



2024年/ミネート作決定! 大量大量























本屋大賞

ノミネート作品発表

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票/ミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。〈投票対象は2022年12月1日~2023年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)>

本屋大賞HP https://www.hontai.or.jp

『黄色い家』

川上未映子/中央公論新社

『君が手にするはずだった黄金について』小川哲/新潮社

『水車小屋のネネ』 津村記久子/毎日新聞出版

『スピノザの診察室』 夏川草介/水鈴社

『存在のすべてを』 塩田武士/朝日新聞出版

『成瀬は天下を取りにいく』 宮島未奈/新潮社

『放課後ミステリクラブ 1金魚の泳ぐプール事件』 知念実希人/ライツ社

『星を編む』 凪良ゆう/講談社

『リカバリー・カバヒコ』 青山美智子/光文社

『レーエンデ国物語』 多崎礼/講談社

/ミネート作品を読んで、本屋大賞を予想しましょう 本屋大賞の発表は、4月10日です。

